

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月31日

計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)【重点】												
計画の期間	令和07年度 ~ 令和10年度 (4年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	北九州市												
計画の目標	過去に台風被害を受けた船だまりの静穏度を確保し、災害の再発を防ぐため、防波堤等の整備を行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,570	A	1,570	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7d	R9d	R10d
1	新門司南小型船だまりにおいて、異常気象時における波高を0.5m以下にする。 新門司南小型船だまりの静穏度確保	0%	100%	100%
2	響瀬西小型船だまりにおいて、異常気象時における波高を0.5m以下にする。 響瀬西小型船だまりの静穏度確保	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靱化地域計画(北九州市国土強靱化地域計画)に基づき実施される要素事業:A全て												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R07	R08	R09	R10	R11				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-001	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	新門司南船だまり北側物揚場(改良)	物揚場改良(本体工、上部工、被覆工、付帯工) L=55m	北九州港・新門司南地区						294		策定済	
	A02-002	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	新門司南船だまり南側物揚場(改良)	物揚場改良 L=33m	北九州港・新門司南地区						120		策定済	
	A02-003	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	新門司南船だまり西側防波堤(改良)	防波堤改良 L=70m	北九州港・新門司南地区						192		策定済	
	A02-004	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	新門司南船だまり東側防波堤(改良)	防波堤改良 L=20m	北九州港・新門司南地区						66		策定済	
	A02-005	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	新門司南船だまり船揚場(改良)	船揚場改良 L=44m	北九州港・新門司南地区						298		策定済	
	A02-006	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	建設	響灘西地区防波堤	防波堤整備 L=100m	北九州港・響灘西地区						600		-	
												小計						1,570		

A 基幹事業

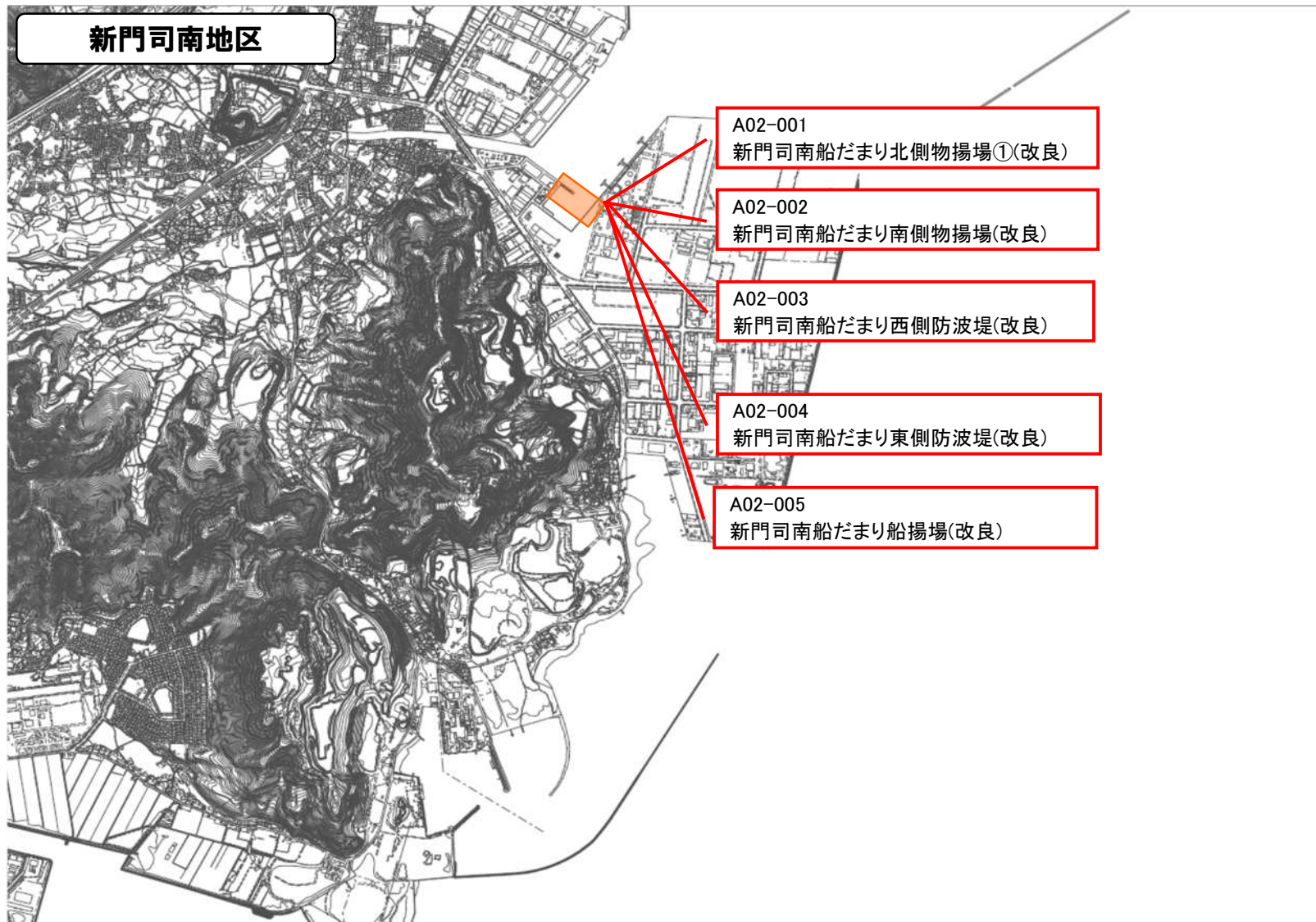
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						1,570		

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)【重点】

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が市の基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 計画の目標が上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地区や施設の現状把握が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が期待される。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 関係者からの要望がある、または理解が得られている。	○
III. 計画の実現可能性 関係者との連携など、事業実施のための環境整備が図られる。	○
III. 計画の実現可能性 施設の継続的な利活用が見込まれる。	○

計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり（防災・安全）【重点】	交付対象	北九州市
計画の期間	令和7年度～令和10年度（4年間）		



計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり（防災・安全）【重点】	交付対象	北九州市
計画の期間	令和7年度～令和10年度（4年間）		

**響灘西地区**



A02-006  
響灘西地区防波堤